

児童室だより No. 84(2013. 7発行)

読んでみませんか 児童室がえらんだものがたり・ちしきの本

本の情報	内容
<p>『こぎつねいちねんせい』</p> <p>斉藤洋作 にきまゆ絵 あかね書房 2013.2 【小低】</p>	<p>丘の上から、小学校へ行くこどもたちを見ていたこぎつねは、じぶんも行きたくくなりました。にんげんの一年生には、パパぎつねからもらったおまもりを首からさげ、小学校にむかいます。給食の時間、油あげを食べたこぎつねは、うれしくて、思わずしっぽを出してしまいました。でも、先生が、さりげなく助けてくれました。学校が終わり、校門まで送ってくれた先生は、こぎつねの持つおまもりとぴったり合わせる、くるみのからを見せてくれました。</p> <p>(J913-サイ-1110606382)</p>
<p>『ねことテルと王女さま』</p> <p>クライド・ロバート・ブラサク レナード・ワイズガードえ あんどうのりこやく 長崎出版 2013.2 【小低～小中】</p>	<p>むかし、木こりの家の納屋で、ひたいに白いハートもようのある黒ネコが産まれました。でも、その家では、ネコを飼うことができませんでした。ネコは、街をさまよううちに、テルという青年に出会い、一緒に暮らすようになりました。画家になることをあきらめていたテルでしたが、このネコを描くことで、絵を描くことのすばらしさを思い出すことができました。ところがある日、ネコは煙突掃除夫のケッチにつかまり、テルの前から姿を消してしまうのです。</p> <p>(J933-フー-1110594165)</p>
<p>『わたしのひよこ』</p> <p>磯みゆき文 ささめやゆき絵 ポプラ社 2013.5 【小中】</p>	<p>ひな子は小学4年生の目立たない女の子。一緒に飼育係をしている、はる子ちゃんと仲良しです。そして、勉強も運動もでき、オシャレなナオミちゃんにあこがれています。ひな子は、がんばってナオミちゃんと親しくなりますが、なんだか楽しくありません。家で大切に飼っている、ひよこのぴーころをナオミちゃんに見せることになりませんが、それが原因で、ぴーころは死んでしまいます。後悔するひな子に、あたたかな声をかけてくれたのは、はる子ちゃんでした。</p> <p>(J913-イソ-1110640947)</p>
<p>『狛犬の佐助 [1] 迷子の巻』</p> <p>伊藤遊作 岡本順画 ポプラ社 2013.2 【小中】</p>	<p>明野神社の狛犬には、それを彫った石工の魂が宿っています。むかって左側の狛犬には佐助という石工の魂が、右側の狛犬にはその親方の魂が宿っています。二頭の狛犬は、よくおしゃべりをしますが、その声が聞こえるのは、6歳までと100歳をこえた人間だけです。そんな明野神社に、最近、耕平という見習い大工がよくやってきます。行方不明になった飼い犬モモが見つかるよう、お願いをしにくるのです。耕平とモモを再会させるため、佐助は、ある作戦を練るのでした。</p> <p>(J913-イト-1110592296)</p>
<p>『竜が呼んだ娘』</p> <p>柏葉幸子作 佐竹美保絵 朝日学生新聞社 2013.3 【小高】</p>	<p>ミアは、罪人の村で生まれ育った少女。幼い頃、母に捨てられ、おばの手によって丁寧に育てられました。切り立った崖に囲まれたこの村と外の世界をつなぐものは、竜だけ。そして、村の外へ出ることができるのは、10才の春に竜に呼ばれた子どもだけなのです。この春、竜に呼ばれたミアは、王宮に連れて行かれます。そして、伝説の竜騎兵の部屋子として仕えることとなります。ところが、その竜騎兵は、魔女に呪いをかけられていたのです。</p> <p>(J913-カン-1110616217)</p>
<p>『うちは精肉店』</p> <p>本橋成一写真と文 農山漁村文化協会 2013.3 【小中～小高】</p>	<p>きょうは、大阪府貝塚市の小さな屠場のさいごの仕事の日。屠場とは、牛や豚などを食材の肉にする場所です。牛を育てて屠畜し、肉を売る仕事をしてきた北出精肉店での最後の屠畜、解体の仕事を写真で紹介しています。生き物である牛が、食材の肉になっていく様子をモノクロ写真で撮影。いのちをいただくことについて、考えさせられます。</p> <p>(J648-イト-1110621870)</p>

本の情報	内容
<p data-bbox="363 230 533 264">『林業少年』</p> <p data-bbox="328 304 571 398">堀米薫作 スカイエマ絵 新日本出版社 2013.2</p> <p data-bbox="411 439 488 472">【小高】</p>	<p data-bbox="715 197 1402 465">小学5年生の喜樹の家は、地元で2番目の山持ち。林業を誇りにする祖父と、山をお荷物と思う母や、林業に携わっていない父との間には、どこか距離があります。夏休み、喜樹が宿題をしていると、お客さんがやって来ました。祖父の山にある百年杉を買いに来たのです。祖父と客とのやりとりに、喜樹は興奮します。冬、いよいよ百年杉を切り倒す日、祖父、父、母、姉の楓、喜樹が立ち会うこととなります。楓から、木を切り倒す手順を説明してもらったり、父からも専門用語が飛び出したりして、喜樹が驚く中、百年杉は、無事に切り倒されます。</p> <p data-bbox="1158 472 1402 499">(J913-ホリ-1110598709)</p>
<p data-bbox="344 533 555 566">『嵐にいななく』</p> <p data-bbox="357 607 542 701">L.S.マシューズ作 三辺律子訳 小学館 2013.3</p> <p data-bbox="379 741 520 775">【小高～YA】</p>	<p data-bbox="715 510 1402 757">洪水で家を失ったジャックの家族は、別の村へ移り住むこととなります。引っ越した家の隣には、車椅子で生活をするマイケルが、姉と共に暮らしていました。ジャックとマイケルは知り合い、友人となっていくます。ある日、ジャックは近所で処分されそうになっている馬を見かけ、助けたいと願います。馬を手に入れることができたジャックは、世話と訓練に努めます。そんな折、竜巻が村を襲い、大きな被害が出ます。なぎ倒された木を動かすため、村の人々は、ジャックの馬に期待を寄せます。</p> <p data-bbox="1158 775 1402 801">(J933-マシ-1110611177)</p>